

頑張る子どもたちを応援 本田ひまりさんに優秀者賞

「内子町がんばる子ども応援事業優秀者賞」に本田ひまりさん（立川小4年）が輝き、授与式が3月28日に町長室で行われました。

同賞は国際大会で入賞した人などに贈られるもので、本田さんは「第22回シヨパン国際ピアノ

コンクール in ASIA」で奨励賞、「全日本ピアノコンクール2021」で銀賞を受賞していました。

笑顔で賞を受けた本田さんは「大会本番でいつもの力を出せてよかった。練習を続けて、もっとピアノを上手に弾けるよう頑張る」と抱負を述べました。

賞状と盾を受け取った本田ひまりさん（右）と母親の亜純さん



本川集落協定の「農地の景観保存」 6年の活動を景観まちづくり賞で顕彰



受賞した本川集落協定の皆さんと、小野植正久町長（左）

良好な景観形成に貢献した個人・団体を表彰する「令和3年度景観まちづくり賞」の表彰式が3月28日、町長室で行われ、本川集落協定に表彰状と木製の盾が贈られました。

本川集落協定では、同地区内全域の水田のあぜ道や法面などに地被植物を植え、除草作業の軽減化と地域の緑化を実現しています。平成28年から6年ほど掛かりました。



「ふるさとを大切に思う子どもたちが育つよう励みたい」と笑顔で語る林教育長

充実した教育環境を子どもたちに―― 新しい教育長に林純司氏が就任

内子町議会本会議が3月18日に開かれ、3月31日で任期満了となった山岡晋前教育長の後任として、林純司氏（60）＝内子20＝を任命することに同意しました。任期は7年3月31日までの3年間です。

林教育長は「学校教育をはじめ、あらゆる教育活動のかじ取りを担う教育長の職責を考えると、身の引き締まる思い。子どもたちが学力、人間性、体力をバランスよく育んでいくことが重要。町長の公約でもある、ふるさと教育を推進し『内子が好き』『将来は内子に戻って暮らしたい』と言ってくれるような子どもたちが育つよう、取り組んでいきたい」と抱負を述べました。

願いは子どもたちの健やかな成長 111組の家族が「出世風名前書き」

「出世風名前書き」（いかざき大風合戦実行委員会主催）が4月10日、共生館で行われました。感染症対策のため風の統数を減らしての開催となりましたが、111組（町内52組、町外59組）が参加。子どもの健やかな成長を願いながら、慎重な筆遣いで風に名前を書き入れました。

家族に見守られながら最後の一画を書き上げた長田朋大さん（伊予市）

は「6年ぶりの名前書きだったので緊張した」と笑顔がこぼれます。そのほかにも、筆を走らせるお父さんを動画で収めたり、書き上げた名前と記念撮影したりと、楽しい家族の姿が会場中で見られました。

全国広報コンクール2年連続W入選 広報紙部門では3年連続1席の快挙

「令和4年全国広報コンクール」（日本広報協会主催）の審査結果が発表され、広報うちこ2021年12月号が広報紙部門（町村部）で全国2位となる入選1席、1月号が組み写真の部で2席を受賞しました。広報紙は8年連続、組み写真は2年連続の受賞となります。

12月号の講評では「全体を通して心地よい空気感を提供している。コロナ禍にあっても視野が広がり、気持ちが晴れやかになる記事の数々と写真の力が、町に好影響を与えているのが伝わる」と高い評価を受けました。

長年、高い評価を得られていたのは、この町で暮らす住民の皆さんの素晴らしい素晴らしさが紙面に詰まっているからだと思います。今後も町の輝きを紹介できる紙面づくりに努めますので、ご支援をよろしくお願いします。

なお受賞団体の表彰式は、6月3日に内子座で開催される「第59回全国広報広聴研究大会」の中で行われる予定です。



上_家族の期待を背に筆を執るお父さん
下_出世風と記念撮影。いい表情撮れたかな



1_組み写真で2席を獲得した1月号12・13ページ。「シクロクロスの迫力と躍動感が伝わる」との講評を受けた 2_広報紙部門1席の12月号の特集は「未来へのパトン」と題して、ふるさとの景色や伝統文化を守る人々にスポットライトを当てた 3_1月号と12月号の表紙